



2学期を振り返って～異学年交流～

校長 山岸 英紀

降り続いた雨が雪に変わり始め、いよいよ寒さも増してきました。

冬が来ると、「モズのはやにえ」を探しながらその年の雪の量を予想することにしています。今年は梅の木の少し高いところの枝に刺さるカエルを見付けました。大雪を予想する情報も聞こえてきますが、はずれることを願うばかりです。

さて、2学期の振り返りを兼ねて、少し「異学年交流」の話をしたと思います。本校の前期課程では、レインボーファミリーという縦割り班をつくり、6年生をリーダーとして異学年と一緒に活動をしています。毎日の「縦割り清掃」をはじめ、10月には、地域を巡る「西山ウォーク」を実施しました。また、この2学期は「ファミリー遊び」や「国吉フェス」を企画し、つい先日も楽しく活動したばかりです。

このような縦割り活動が盛んになったのは、かつて子供たちが地域との関わりの中で身に付けてきた社会性が育みにくくなってきたことからだと認識しています。（私たちの子供の頃は、放課後といえば学年関係なく原っぱで遊び回っていました。年長者が仕切り、小さい子が仲間に入れてもらって人間関係を築いたものです。）縦割り活動を進めるときには、リーダーの苦労もあるのですが、それも大切な学びです。子供たちには、レインボーファミリーの活動を通して、「役に立ててよかった」「またしてあげたいな」という気持ちや「お兄さん、お姉さんすごいな」という憧れなどを大いにもってほしいと考えています。

また、本校の強みは前期課程生と後期課程生が積極的に関わり合えることです。20年ほど前、小中一貫教育の先進的な取組をしていた関東地方の中学校を訪れたことがあります。そこでは、中学2年生が低学年の子供たちに読み聞かせをする交流活動が行われていました。その中学生たちの優しい表情を今でも覚えています。この2学期の本校には、2年生と7年生が互いにダンスの練習を見合う、1年生と8年生と一緒にサツマイモを掘る、9年生が家庭科の授業で作ったおもちゃで1年生に遊んでもらう、前期課程生と後期課程生と一緒に挨拶運動を行うなど、たくさんの交流する姿がありました。そこでみられる子供たちの表情は穏やかで、互いをリスペクトしていることや認め合っていることを感じ取ることができました。

国吉義務教育学校は、1年生から9年生と一緒に学び合い、高め合う学校です。そのことを子供たちが誇りとして一層伸びていくことができるよう、これからも努めてまいります。

今学期もご協力ありがとうございました。



11/8 芋掘り(1,8年)



12/18 「ファミリー遊び」



12/5 家庭科(1,9年)

朝の自動車の乗り入れについて



先週から行っている学校敷地内への朝の自家用車の乗り入れ方にご協力いただきありがとうございます。これまで大きな混乱なく実施できております。

案内のとおり、1月と2月については積雪によって校門付近が狭くなることが予想されますので、後期課程側の門から入って前期課程側へ抜けるルートとします。3学期のはじめに改めて誘導いたしますので、引き続き安全な送迎にご留意いただきますようお願いいたします。